

2010年11月吉日

各 位

日本建築学会近畿支部材料施工部会
近畿生コンクリート圧送協同組合

第7回圧送技術研究会開催のご案内

拝啓 晩秋の候、貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、コンクリート圧送に対するご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、恒例となりましたコンクリート圧送・ポンプ工法に関する研究会も第7回を開催することになりましたので、ご案内申し上げますとともに、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

近年は、コンクリート構造物の仕様やコンクリート用材料も大きく変化し、特に高強度コンクリートや高流動コンクリートの施工性やポンプ圧送性は大きな影響を受けております。また、責任施工の観点から品質管理・安全施工が重要度を増してきています。

そこで、2004年7月に「より良いコンクリート構造物を社会に提供すること」を目的として、コンクリート構造物の建設に携わる関係者が相互理解を深めるために、建設業界をはじめとしてポンプ業界・生コン業界・ポンプメーカー・混和剤メーカーが一堂に会して第1回圧送技術研究会を開催し、ポンプ圧送性を切り口とした問題提起をさせていただきました。第2回研究会では、フィールド実験を実施し、圧送距離30mにおける強度や骨材の種類に伴う圧送負荷の差異を測定しました。また、実施工での圧送高さ50mの高強度・高流動コンクリートの圧送性を検証し、それらの結果を発表しました。第3回研究会では再度フィールド実験を実施し、長距離圧送（300m）におけるコンクリート性能を計測し、ポンプ圧送性の評価手法について検証しました。また、実施工での圧送高さ200mの高強度・高流動コンクリート性状についても検証を行い、それらの結果を発表するとともに、研究成果を基にした「圧送性評価ソフト」を作製しました。第4回研究会では、コンクリート関連業界全てが利用できる「圧送性評価ソフト」の改訂版と、新しいポンプ圧送性の評価にかかる提案を中心として発表を行いました。また第5回研究会では、「2007年版圧送性評価ソフト」の2008年改訂版と、生コンクリートによるポンプ圧送性評価についての実験・研究報告を中心に発表しました。第6回研究会では、それまでの実験データとの比較・検証、軽量コンクリートのポンプ圧送性、吊り打ちなど施工方法の改善に関する提案など、実験・研究報告を中心として行いました。

そして本年も、第7回圧送技術研究会を12月15日（水）「ホテル大阪ベイタワー」にて開催いたします。今回は、コンクリートのポンプ工法に関する総合的な検討のためフィールド実験を実施し、これまでの実験データを総括して、昨年に引き続き、軽量コンクリートのポンプ圧送性、吊り打ちなど施工方法の改善に関する提案など、実験・研究報告を中心として行います。より広範囲な皆様の関心の中で、より良いコンクリート構造物をめざしている関係各位に参加を呼びかけるものです。品質・技術に熱意ある貴職におかれましては、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時：2010年12月15日（水） 13：00～17：00

開催場所：ホテル大阪ベイタワー 4階 ベイタワーホール

〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-1

TEL 06-6577-1111 FAX 06-6576-5155

参加費：3,000円 ※研究会資料込み

以 上

